

令和5年度通学路関係PTA要望検討結果

| 番号 | 要望内容 | 検討結果 |
|----|---|--|
| 1 | 自動車が減速せず通り過ぎるので、接触する危険性があるため、トンネル手前で自動車が減速するような標識や段差の設置。 | 自動車が減速するようにポストコーンをトンネル入り口に設置します。 |
| 2 | 看板が設置してあるため徐行して走行するが、子どもが小さいため見づらいため、門の前を見やすくするためのミラーの設置。 | 校門での一旦停止を小学生へ指導します。 道路左側走行を中学生へ指導します。 |
| 3 | 道幅が狭いうえ、交通量が多く、危険なため、路側帯の色分け及び「スクールゾーン」の表示、塗り直し。 | 外側線の塗り直しをします。 新しく「スクールゾーン」の路面表示をするとともに、薄くなった表示は塗り直します。 |
| 4① | トンネル出口の交差点で、車のスピードが出ているときがあり危険なため、「この先通学路・スピード注意」の塗装や「飛び出し注意」「通学路」等の看板の設置。 | 自動車が減速するようにポストコーンをトンネル入り口に設置します。 |
| 4② | 交差点で、交通量があり、見通しが悪いため、スクールゾーンの標識の設置や、交差点が目立つような塗装。 | 交差点のカラー舗装を実施します。 |
| 5 | 南進する車から見通しが悪く、事故も多いため、「スクールゾーン」の表示や交差点の塗装。 | 交差点のカラー舗装を実施します。 「止まれ」の塗り直しを警察へ要望します。 |
| 6 | スピードを減速しない車が多く、交通事故も起きているため、信号のない各交差点に横断歩道の設置、塗り直し、「こども注意」表示、看板設置、カーブミラーサイズの変更。 | 横断歩道の塗り直しを警察へ要望します。 「こども注意」の路面表示を3箇所、止まれのシールを8箇所に施工します。 |
| 7① | 急に狭くなるところで、歩行者や自転車が入り乱れて通り危険なため、片側(西側)に外側線の設置。 | 歩く場所を示す緑色のカラー舗装を実施します。 |
| 7② | 信号がすぐ点滅になり班が分断されるため、歩行者用信号機を青信号の残り時間がわかるように砂時計タイプに変更。 | 信号機の変更を警察へ要望します。 |
| 8 | お地蔵さんを右折する際、右方向からくる自転車等見づらく危険なため、交差点の白十字の周りに緑ペイント塗装。 | 交差点の見通しが良いところを歩けるように緑色のライン塗装を実施します。 |
| 9 | カーブミラーはあるが右折側の確認が難しいため、通学路であることを周知するため、のぼり旗や看板の設置。 | 路面表示の施工を実施します。 |
| 10 | 横断歩道手前で減速しない自動車があり危険なため、「幼稚園あり、最徐行」や「横断歩道あり、速度落とせ」等の看板の設置。 | 看板の設置場所について検討し、対応します。 |
| 11 | 交通量が多く、スピードを出している車が多いため、交差点のカラー塗装。 | 路面表示の施工を実施します。 |



